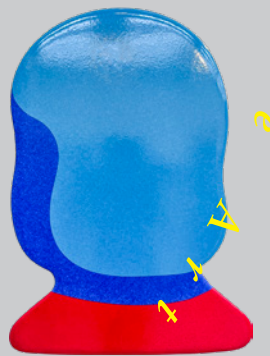


転生する超絶技巧

Transcendental Techniques Reincarnated : the Art of Otsuka Ohmi Ceramics

伝移の芸術



技術のゆりかご

大塚オーミ陶業の芸術

2023年10月19日(木) - 11月5日(日)

休館日：月曜日

開館時間：午前10時 - 午後6時 ※入場は閉館の30分前まで

京都文化博物館 別館ホール (重要文化財)

〒604-8131 京都市中京区三条通高倉

<https://www.bunpaku.or.jp>

入場料：無料

主催：大塚オーミ陶業株式会社

共催：大塚国際美術館

後援：大塚ホールディングス株式会社、滋賀県立陶芸の森、

京都府京都市、滋賀県甲賀市



大塚オーミ陶業株式会社
<https://www.ohmi.co.jp>



手の記憶と心の蘇生

牧神の楽園



この博物館や文書館といった特別な記憶の倉庫が必要になってきます。大塚オーミ陶業の仕事もそれに近いものがありますが、博物館の保存とはまた違うメリットを持っていると思います。芸術的な遺産については、その技の鋭さや繊細なメンテナンスを汲み取ることではじめて十全にその生命を蘇らせます。それにはきわめて繊細かつ周到な技巧が必要なのですが、その困難な仕事を見事に成し遂げてきたのが、信楽の大塚オーミ陶業の工場です。今回の展示会は、単に優れた企業の半世紀の業績を振り返るということにとどまらず、私たちの文化的環境を先人たちがいかに作り、またそれをいかに伝えてゆくのかを考える貴重な機会となることでしょう。

心を潤す技の結晶

上村博(京都芸術大学教授)

建築資材など、任環境にかかわる仕事に長い実績がある大塚オーミ陶業は、数多くの文化財や芸術作品の再現も手掛けてきました。これは、単に窯業技術を教育普及に応用しているというところにとどまりません。先人たちの文化遺産を守り伝えることにより、私たちの心の拠りどころを支えるという大事な仕事を担っています。私たちは建築や街並みをはじめ、過去から受け継いできた文化的な環境の中で、自分たちが何者なのかを確認し、毎日の生活に意味を見出すことができます。しかし残念なことに、物質として残された文化遺産は時間とともに劣化することが避けられません。そこで考えています。

創業50周年を記念し、京都で初めての展示会を、歴史ある会場で開催いたします。ご高覧いただければ幸いです。

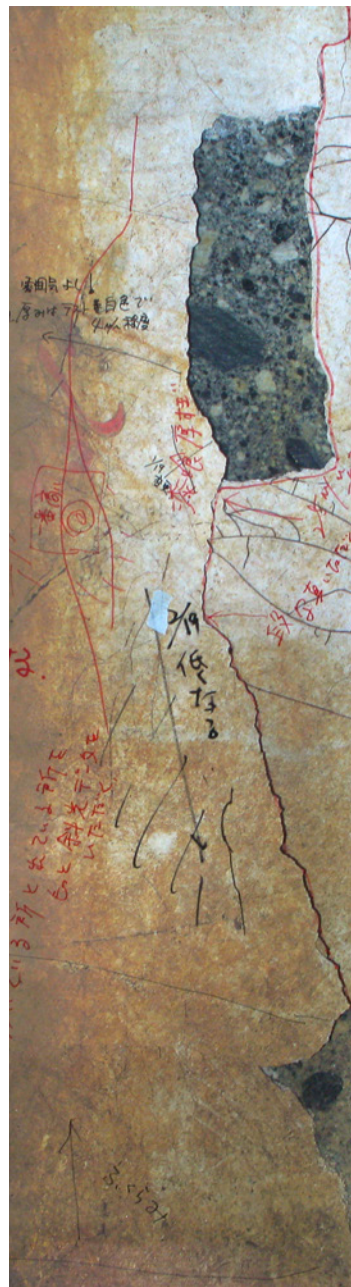
常に大型にこだわり、多様な表現手法を工夫し挑戦する姿勢は今も受け継がれています。大塚国際美術館の開館から25年、その製作過程で高めた技法と経験を基に、新しい技術の活用も進んでいますが、最後は人の手技が深みを加えます。

多くの方々のご支援に感謝し、私たちはこれからも、更に、やさしもの可能性を創造していきたく考えています。

大塚オーミ陶業の芸術

やさしもの可能性への挑戦 大杉栄嗣(大塚オーミ陶業代表取締役社長)

軽くて大きな建材を創る—こんな夢から始まった大塚の陶板づくりは、独自の成型方式をあみ出し、世界7カ国の特許を取得しました。釉薬の共同研究を信楽で始め、1973年大塚オーミ陶業は誕生しました。オイルショックなど時代の変化に翻弄されつつも、50年という時間のなかで、常に変化を続けて今日に至っています。



△キトラ古墳壁画の複製 実寸大修正指示書



△システィナナ・ホール(大塚国際美術館・徳島県鳴門市)

▽「Dirt-Shrine-West」ロバート・ラウシェンバーク
© Robert Rauschenberg Foundation / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo, 2023 E5380



京都文化博物館 別館ホール

〒604-8131 京都市中京区三条通高倉
TEL: 075-222-0888 <https://www.bunkaku.or.jp>

- 地下鉄烏丸御池駅下車5番出口から三条通を東徒歩3分
- 阪急烏丸駅下車16番出口から高倉通を北徒歩7分
- 京阪三条駅下車6番出口から三条通を西徒歩15分
- 市バス堺町御池下車徒歩2分
- ※会場に駐車場駐輪場はありません。
- ※車や自転車でお越しの際は近隣の駐車場駐輪場をご利用ください。

広瀬浩二郎 Kojiro Hirose
国立民族学博物館
人類基礎理論研究部教授
1967年東京都生まれ。筑波大学附属盲学校から京都大学大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、触をテーマとするイベントを全国で実施。

10月22日(日) 午後2時—4時 **ワークショップ**
「ユニバーサル・ミュージアム in 京都」
「やさしもので魅せる新たな鑑賞体験」

上村博 Hiroshi Uemura
京都芸術大学大学院芸術研究科教授
1963年熊本県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程中退。京都大学文学部哲学科助手、バリ第四大学院研究員を経て、現在、京都芸術大学大学院(通信教育)に勤務。

10月19日(木) 午後4時—5時 **講演**
「生きられる空間、美の継承」

10月28日(土) 午後2時—4時 **講演・対談**
「伝移の芸術」
荒井 経 Kei Arai
東京芸術大学大学院美術研究科
保存修復日本画研究室教授/日本画家
1967年栃木県生まれ。東京芸術大学大学院博士後期課程修了。博士(文化財)。東京学芸大学准教授を経て現職。文化財保存修復学会理事。
単著『日本画と材料—近代に創られた伝統』(2010年)で倫雅美術奨励賞、文化財保存修復学会業績賞を受賞。



△高松塚古墳壁画の復元 専門家の監修

建石徹 Toru Tateishi
国立文化財機構 東京文化財研究所
保存科学研究室長
1969年東京都生まれ。東京学芸大学大学院修了(文化財科学コース)。博士(学術)。東京芸術大学大学院助手(保存科学研究室)を経て、2005年より文化庁に勤務。高松塚古墳キトラ古墳の保存対策等を担当。奈良県への出向を経て、2021年より現職。
著書『極彩色壁画の発見 高松塚古墳・キトラ古墳』(2022年)

10月19日(木) 午後4時—5時 **講演**
「生きられる空間、美の継承」

10月22日(日) 午後2時—4時 **ワークショップ**
「ユニバーサル・ミュージアム in 京都」
「やさしもので魅せる新たな鑑賞体験」

10月28日(土) 午後2時—4時 **講演・対談**
「伝移の芸術」
荒井 経 Kei Arai
東京芸術大学大学院美術研究科
保存修復日本画研究室教授/日本画家
1967年栃木県生まれ。東京芸術大学大学院博士後期課程修了。博士(文化財)。東京学芸大学准教授を経て現職。文化財保存修復学会理事。
単著『日本画と材料—近代に創られた伝統』(2010年)で倫雅美術奨励賞、文化財保存修復学会業績賞を受賞。

Transcendental Techniques Reincarnated: the Art of Otsuka Ohmi Ceramics

転生する超絶技巧